

政務活動報告書（個表）

管理番号	4-1	作成	4月12日
会派(議員)名	川口新風会 木岡 崇		
実施年月日	2023年4月12日		
政務活動の 具体的内容	項目	①調査研究費      ②研修費      ③ <b>広報費</b> ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費      ⑦資料作成費      ⑧資料購入費 ⑨人件費      ⑩事務所費      ⑪事務費	
	内容	市民への市政報告のための市政レポート44号の制作および印刷代として  領収書別添	
		※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること	
支出の内容	金額	83,490円	(消費税込)
	内訳	領収書別添  市政レポート44号の制作および印刷費として 23,000枚×@3.3円=75,900円(税抜) 75,900円×1.1=83,490円(税込)	
		※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること	
備考			

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号  
※ 4-1

領収書等は重ならないように貼付すること

領 収 書

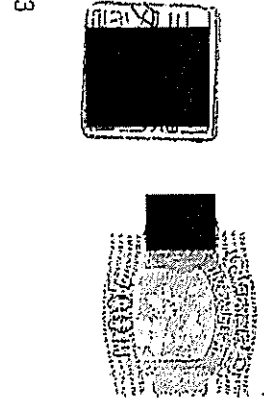
木岡 崇 様

¥83,490※

但し 市政レポート44号 印刷費 (23,000枚×03.3) として  
2023年04月12日 上記の金額正に領収致しました。

内訳	金額
消費税	¥7,590-

〒963-8025  
 福島県郡山市桑野4-4-41  
 有限会社プリントニシ



024-934-2489/024-934-2493

※管理番号は政務活動報告書（個表）と同一とし、複数にわたるときは枝番を付すること



# 木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.44 | 2023.11.15

## 【木岡の思い】

川口市議会には、市政最大の権力者である市長に忖度ばかりで問題提起すらしない市議会議員が多いと感じております。これでは市議会の大切な役割である市政のチェック機能は働きません。

わたし木岡は、「社会の不正に沈黙しない」との思いで、長いものに巻かれず、権力に忖度せず、モノ言う議員として市議会で全力を尽くします。

『下がり続ける実質賃金』『目減りする年金』

『円安・資源高の影響を受けての物価高』

## 川口市が優先的に取り組むべきは、 駅周辺の大型開発ではありません！！

スーパーに買い物に行っても支払額が驚くほど高額となってしまう、私たち普通に暮らす市民の生活は苦しくなるばかりです。

本来、国が市民生活を直接支援すべきですが、残念ながらうまく機能していません。そのような時こそ、住民に身近な川口市が果たすべき役割は次のような施策だと考えております。

わたし木岡は、実現に向けて市議会で提案していきます。

### 「いま川口市に必要なこと」

1

介護保険料・国民健康保険税の引き下げ  
・軽減策の拡充

実質賃金が減り続け、年金が目減りする中、深刻な物価高により市民生活は苦しくなるばかりです。そうした家計を支える一つの方法が介護保険料や国民健康保険税の負担軽減です。

2

交通不便エリアの解消と買い物難民を生まないための公共交通網の整備

高齢化が進む中で、免許返納や身体の不調などにより行動範囲が制限されてしまう高齢者が増えています。交通不便エリアはもちろん、そうした方々が安心して移動できる公共交通機関（オンデマンド型公共交通網等）が必要です。更なる高齢化が進むことを見越して、早急に準備すべき課題です。

【裏面につづく】

## 木岡たかし [profile]

公式ホームページ

木岡 たかし



2007年（平成19年）川口市議会議員選挙で初当選。

2011年・2015年・2019年の川口市議会議員選挙で再選。現在4期目 川口市議会「立憲民主党・新風会」所属

【所属委員会】◎環境経済文教常任委員会 ◎地域活力・市民生活向上特別委員会



3

大型開発工事ではなく、地域の生活道路や歩道などの維持・補修を優先的に促進

現市長が進める川口駅周辺に偏った大型開発行為を改めて、地域の生活道路の維持・補修や安全な歩道の維持・整備を優先的にすすめることで、街の利便性・安全性の向上を図ります。



4

介護や保育、福祉分野を成長産業にすることで、地域の雇用拡大と待遇改善をすすめます

介護や保育、福祉分野で働く方々の労働条件を引き上げると同時に、経営・運営が成り立つ制度とします。地域密着型の介護や保育、福祉分野の労働条件が改善すれば、生活が安定するだけにとどまらず、そこで働く方々が地域でお買い物をして、地域経済の回復にもつながります。

5

小・中学校の給食費と教材費の無償化、放課後児童クラブの無償化をすすめます

物価高で家計が苦しくなる中で、川口市としてできる支援策の一つが、教育費の負担軽減です。教育費の負担が減れば、そのお金の多くは地域での消費行動につながり、地域経済の活性化にもなります。

6

0歳児～2歳児の保育料を引き下げ、第二子以降の保育料無償化を

子育てしやすい街は、現役世代に選ばれます。子育てをしている現役世代が増えれば、街としての活気も増えますし、市内での消費行動も活発になります。地域の発展には欠かせない要素です。

7

埼玉高速鉄道の「運賃」「通勤定期券」値下げのため岩槻までの延伸にストップをかけます

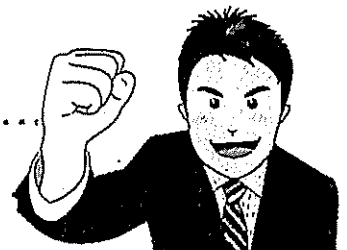
埼玉県、さいたま市が主導している埼玉高速鉄道の岩槻駅までの延伸計画については、川口市にとってメリットは多くはありません。岩槻まで延伸するには「多額の予算＝借金」が必要になります。やっと単年度黒字を実現したところなのに、延伸工事のために新たに多額の借金をすれば、「普通運賃」「通勤定期券」の値下げは遠のくばかりです。

しかも延伸先の岩槻区の将来人口は、今後10年間で約9,000人の人口減少が予測されています。今やるべきは、人口減少エリアへの延伸工事ではなく、「普通運賃」「通勤定期券」の値下げです。



## 川口駅周辺ばかりにお金を使う

### 今の市政を見直せば、財源は作れます！



#### ● 財源その1

建設費だけで300億円と言われる川口駅への中距離電車停車計画の廃止・見直しにより財源は作れます。

#### ● 財源その2

建設費だけで30億円とも言われる市立美術館計画の廃止・見直しにより財源は作れます。

#### ● 財源その3

長期間にわたり未整備区間となっている川口駅周辺の道路建設計画（残工事に約300億円必要）を縮小・見直しして、大幅な予算削減をすすめれば財源は作れます。

政務活動報告書（個表）

管理番号	4-2	作成	5月31日
会派(議員)名	立憲新風会 木岡 崇		
実施年月日	2023年 4月 15日		
政務活動の 具体的内容	項目	①調査研究費 ⑤要請・陳情活動費 ⑨人件費	②研修費 ⑥会議費 ⑩事務所費
		③ <b>広報費</b>	④広聴費 ⑦資料作成費 ⑪事務費
	内容	<p>市民への市政報告のための市政レポート44号のポスティング代金として</p> <p>領収書別添</p> <p>※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること</p>	
支出の内容	金額	105,193円	(消費税込)
	内訳	<p>領収書別添</p> <p>市政レポート44号のポスティング代金として</p> <p>21,251枚×@4.5円=95,630円(税抜)</p> <p>95,630円×1.1=105,193円(税込)</p> <p>※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること</p>	
備考			

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号  
※ 4-2

領収書等は重ならないように貼付すること

領 収 証 木岡 たかし 様 No. \_\_\_\_\_

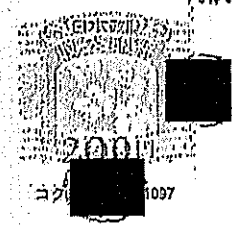
☆ 4 105,193-

但 庶政レポート44号ポストマーク費用として

2023年 5月 22日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税込)
	9%	95,630
	9%	9,560
	税率	金額(税込)
	9%	消費税込額等

埼玉県川口市川口  
2-15-10  
Tel 048-291-8214  
(株) クローバー



※管理番号は政務活動報告書(個表)と同一とし、複数にわたるときは枝番を付すること



# 木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.44 (2023.4.15)

## 【木岡の思い】

川口市議会には、市政最大の権力者である市長に忖度ばかりで問題提起すらない市議会議員が多いと感じております。これでは市議会の大切な役割である市政のチェック機能は働きません。

わたし木岡は、「社会の不正に沈黙しない」との思いで、長いものに巻かれず、権力に忖度せず、モノ言う議員として市議会で全力を尽くします。

『下がり続ける実質賃金』『目減りする年金』

『円安・資源高の影響を受けての物価高』

## ① 川口市が優先的に取り組むべきは、 駅周辺の大型開発ではありません！！

スーパーに買い物に行っても支払額が驚くほど高額となってしまう、私たち普通に暮らす市民の生活は苦しくなるばかりです。

本来、国が市民生活を直接支援すべきですが、残念ながらうまく機能していません。そのような時こそ、住民に身近な川口市が果たすべき役割は次のような施策だと考えております。わたし木岡は、実現に向けて市議会で提案していきます。

### 【いま川口市に必要なこと】

① 介護保険料・国民健康保険税の引き下げ  
・軽減策の拡充

実質賃金が減り続け、年金が目減りする中、深刻な物価高により市民生活は苦しくなるばかりです。そうした家計を支える一つの方法が介護保険料や国民健康保険税の負担軽減です。

②

交通不便エリアの解消と買い物難民を生まないための公共交通網の整備

高齢化が進む中で、免許返納や身体の不調などにより行動範囲が制限されてしまう高齢者が増えています。交通不便エリアはもちろん、そうした方々が安心して移動できる公共交通機関（オンデマンド型公共交通網等）が必要です。更なる高齢化が進むことを見越して、早急に準備すべき課題です。

【裏面につづく】

### 木岡たかし [profile]

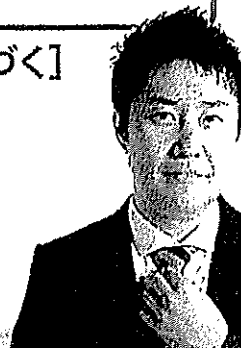
公式ホームページ

木岡 たかし

2007年（平成19年）川口市議会議員選挙で初当選。

2011年・2015年・2019年の川口市議会議員選挙で再選。現在4期目 川口市議会「立憲民主党・新風会」所属

【所属委員会】◎環境経済文教常任委員会 ◎地域活力・市民生活向上特別委員会



3

### 大型開発工事ではなく、地域の生活道路や歩道などの維持・補修を優先的に促進

現市長が進める川口駅周辺に偏った大型開発行為を改めて、地域の生活道路の維持・補修や安全な歩道の維持・整備を優先的にすすめることで、街の利便性・安全性の向上を図ります。



4

### 介護や保育、福祉分野を成長産業にすることで、地域の雇用拡大と待遇改善をすすめます

介護や保育、福祉分野で働く方々の労働条件を引き上げると同時に、経営・運営が成り立つ制度とします。地域密着型の介護や保育、福祉分野の労働条件が改善すれば、生活が安定するだけにとどまらず、そこで働く方々が地域でお買い物をして、地域経済の回復にもつながります。

5

### 小・中学校の給食費と教材費の無償化、放課後児童クラブの無償化をすすめます

物価高で家計が苦しくなる中で、川口市としてできる支援策の一つが、教育費の負担軽減です。教育費の負担が減れば、そのお金の多くは地域での消費行動につながり、地域経済の活性化にもなります。

6

### 0歳児～2歳児の保育料を引き下げ、第二子以降の保育料無償化を

子育てしやすい街は、現役世代に選ばれます。子育てをしている現役世代が増えれば、街としての活気も増えますし、市内での消費行動も活発になります。地域の発展には欠かせない要素です。

7

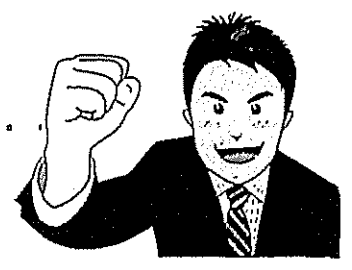
### 埼玉高速鉄道の「運賃」「通勤定期券」値下げのため岩槻までの延伸にストップをかけます

埼玉県、さいたま市が主導している埼玉高速鉄道の岩槻駅までの延伸計画については、川口市にとってメリットは多くはありません。岩槻まで延伸するには「多額の予算＝借金」が必要になります。やっと単年度黒字を実現したところなのに、延伸工事のために新たに多額の借金をすれば、「普通運賃」「通勤定期券」の値下げは遠のくばかりです。

しかも延伸先の岩槻区の将来人口は、今後10年間で約9,000人の人口減少が予測されています。今やるべきは、人口減少エリアへの延伸工事ではなく、「普通運賃」「通勤定期券」の値下げです。



## 川口駅周辺ばかりにお金を使う 今の市政を見直せば、財源は作れます！



#### ◆ 財源その1

建設費だけで300億円と言われる川口駅への中距離電車停車計画の廃止・見直しにより財源は作れます。

#### ◆ 財源その2

建設費だけで30億円とも言われる市立美術館計画の廃止・見直しにより財源は作れます。

#### ◆ 財源その3

長期間にわたり未整備区間となっている川口駅周辺の道路建設計画（残工事に約300億円必要）を縮小・見直して、大幅な予算削減をすすめれば財源は作れます。